

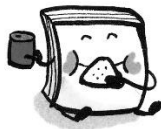


# 図書館だより

2026年5月 上里小学校 図書館

5月は、国民の祝日がたくさんありますね。例えば「憲法記念日（3日）」、「みどりの日（4日）」、「こどもの日（5日）」など。では、5月6日は、何の日だと思いますか？7日は？みなさん毎日何かの記念日があることを知っていましたか？

図書館の入り口には、①毎日の「今日は何の日？」と、②その日の雑学、③その日のおすすめの本（裏面）を掲示しています。それに合わせて④みなさんの誕生日も掲示しています。ぜひ図書館にきて誕生日を教えてください。ひとり2冊借りられる誕生日カードをお渡ししています。



## 5月の図書館の予定

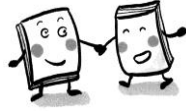
この週は G W  
前なので  
3冊借りられます！

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4月27日 きゅうかんび 休館日	4月28日 3冊貸出	4月29日 しやわひ 昭和の日	4月30日 3冊貸出	5月1日 きゅうかんび 休館日
4日 みどりの日	5日 こどもの日	6日 ふりかえきゆうしつ 振替休日	7日	8日 2冊貸出
11日 きゅうかんび 休館日	12日	13日	14日	15日 2冊貸出
18日 きゅうかんび 休館日	19日	20日	21日 2冊貸出	22日 きゅうかんび 休館日
25日 きゅうかんび 休館日	26日	27日	28日	29日 2冊貸出

## きょうなんひ まいにち きねんひ 今日は何の日？毎日が記念日

- \* 5月3日→憲法記念日・ごみの日→おすすめの本は、けんぼうのおはなし
  - \* 5月4日→みどりの日・植物園の日→おすすめの本は、みどりいろのたね
  - \* 5月5日→こどもの日→おすすめの本は、オオカミグーのはずかしいひみつ
  - \* 5月6日→コロッケの日→おすすめの本は、こまったさんのコロッケ
  - \* 5月7日→博士の日→おすすめの本は、ズッコケ発明狂時代など。
- 自分の誕生日は、何の日で、どんな本がおすすめかな？ぜひ探しにきてね。





# か だ い と し ょ し ょ う か い 課題図書の紹介



## \*まこちゃんとコトバロボ(1・2ねんよう)

(村上 しいこ作・佼成出版社)

ドリルも宿題も大嫌いなまこちゃんは、国語のことならなんでも教えてくれる「コトバロボ」と出会う。コトバロボに宿題をまかせきりにするまこちゃんですが…。

## \*なにかいいことあった?(1・2ねんよう)

(ミーシャ・アーチャー作・BL出版)

「なにかいいことあったかい?」おじいちゃんからそうたずねられたダニエルは、いいことをさがしに公園へ…。

## \*ララのまほうのことば(1・2ねんよう)

(グレーシー・ジャン作・工学図書)

暑い夏。ララは、毎日。空き地や庭の草や葉っぱに水をあげ、優しい言葉をかけていました。ところがいつもどろんこで帰ってくるララは、お母さんに怒られ、外に出してもらえなくなってしまい…。

## \*たねはいのちのおわりとはじまり(1・2ねんよう)

(鈴木 純作・ブロンズ新社)

たねの中には、いのちの歩目を踏み出すために必要なものが入っている。植物観察家・鈴木純が植物のいのちの源である「たね」の神秘を紹介する絵本。

## \*まだまだここから(3・4年用)

(宇佐美 牧子作・ポプラ社)

水泳が得意な小学4年生の連にスイミングスクールのとっくんせい特訓性になるチャンスが!でも受かったのは、弟の凛…。「がんばる意味を見つけていく少年の物語」

## \*それからぼくはひとりで歩く(3・4年用)

(アリシア・モリーナ作・ほるぷ出版)

ハイメは、11歳の男の子。学校のクラスに視覚障害がある子は、自分だけ。ある日、初めてひとりバスにのって帰ることになり…。

## \*おいしいお米を作りたい!(3・4年用)

(谷本 雄治作・汐文社)

小学生で農家に弟子入りし、お米つくりを始めたゆうちゃん。書虫とのたたかい、おそいかなる台風を乗り越え、目標を達成できるのか…。ゆうちゃんの挑戦!

## \*みんなの知らない宇宙トイレのひみつ(3・4年用)

(ぼんど・ストーン作・あすなろ書房)

人類は、最新の科学技術を駆使し、宇宙への冒険を進めてきた。だが、科学のチカラでは解決できない大きな問題が残されていた。意外と知らない宇宙トイレの秘密!!!

## \*ポジション(5・6年用)

(高田 由紀子作・岩崎書店)

スポーツは苦手なのに「背が高いから」という理由だけミニバスチームに誘われた、小学5年生の芽吹。友達ができるかもと入団を決意するが、運動神経のなさで迷惑をかけ…。

## \*リヒト(5・6年用)

(イノウエミホ作 文研出版)

リヒト、最後に伝えておきます、祖母が僕に託した中身のわからない封筒…。疑問をかかえながら僕は、苦手なあいつと一緒にドイツに向かうことになり…。

## \*ミシュカ(5・6年用)

(エドワード・ファンデル作 静山社)

難民になった家族が新しい国でようやく見つけた幸せ。9歳の少女ロヤが、楽しい日々を過ごす中でも大変だったことや様々な差別のつらさを伝える…。

## \*キミの一歩 アフリカ ソウを食べるにはひと口ずつ

(5・6年用) (味田村太郎作 あかね書房)

南アフリカに赴任した記者が、食料不足や貧困、野生動物の保護といった社会問題を背景にチェスやおり紙を通して子供たちが力強く生きる姿を描く。

